

第9章 計画の推進に向けて

(1) 目標指標の設定

本計画で示したまちづくりの方針の実現に向けて、コンパクトシティ・プラス・ネットワークの都市構造の形成や公共交通の利便性を示す指標と将来の目標値を以下の通り設定します。

①「暮らしに寄り添う持続可能な都市拠点の形成」の実現に関する目標値

具体的な目標として、『都市機能誘導区域内への都市機能の集積』を掲げ、評価指標を以下のように設定します。

評価指標	現況値 (令和2年(2020年))	目標値 (令和24年(2042年))
都市機能誘導区域内における都市機能誘導施設数	6件	8件

②「誰もが健康にいきいきと暮らせる良好な住環境の形成」の実現に関する目標値

具体的な目標として、『居住誘導区域内における良好な住環境の形成』と『市民の健康的な生活の実現』を掲げ、評価指標を以下のように設定します。

評価指標	現況値 (平成27年(2015年))	推計値(参考) (令和22年(2040年))	目標値 (令和24年(2042年))
居住誘導区域内の人口密度	14.1人/ha	7.6人/ha	現状維持
健康寿命(お達者年齢)※の延伸 (平均健康寿命)	男性78.9歳 女性84.4歳 (2011~2015年平均)	—	現況値より延伸

※健康寿命(お達者年齢):大分県で独自に算出している指標で、介護保険の要介護1までを健康、要介護以上を不健康として算出しているもの。(国東市健康づくり計画(第2次)平成30年3月より)

③「市民の生活を支える公共交通ネットワークの形成」の実現に関する目標値

具体的な目標として、『公共交通網の維持』を掲げ、評価指標を以下のように設定します。

評価指標	現況値 (令和2年(2020年))	目標値 (令和24年(2042年))
都市計画区域内を運行する路線バス、コミュニティバス・タクシーの合計路線数	14本	14本

④「市民の命を守る安全・安心なまちの形成」の実現に関する目標値

具体的な目標として、『防災のソフト対策』を掲げ、評価指標を以下のように設定します。

評価指標	現況値 (令和2年(2020年))	目標値 (令和24年(2042年))
居住誘導区域内における防災士の人数	6人	16人

(2) 計画の評価と見直し

本計画はおおむね 20 年後の将来を展望した計画ですが、社会情勢の変化や上位関連計画の見直し等に応じて、適宜計画を見直す必要があります。

このため、本計画に示された誘導施策等の実施・進捗状況や目標指標の達成状況等については、PDCA サイクルの手法を用いておおむね 5 年ごとに評価を行い、必要に応じて計画の見直しを行います。

